

6/15.赤旗

参院選本番並み遊説

自民党、公明党や日本維新的幹部は参院選投票日まで一ヶ月を切った11、12日、各地で党候補押し上げに力を入れました。

安積謙二元首相は大阪市内で講演。「防衛費のGDP(国内総生産)比2%を5年以内に達成すべきだと(岸田政権の)骨太方針に入るように申し上げてきた」と軍拡方針の明記を自らの成果としました。また、日本はロシア、北朝鮮、中国に囲まれているとして特別な軍拡が必要だと述べ、「反撃能力を持つことを防衛文書にしっかりと書き込む。反

撃能力とは打撃力のことだぞ打撃力を持っていく」と語りました。自らが提案した「9条1、2項を残して自衛隊を明記する」の条改憲案について、「公明党の賛成がなければ発議できな」として、同党の賛同を得たことが自衛隊明記案の狙いだと語りました。

同党の高市早苗政調会長は

GDP比2%について「10兆円のデレヒ番組で、軍事費

12日に神戸市で「日本の防衛力を強化しなければならぬ。切り札は日本と米国の同

松井一郎代表は11日、横崎

海道、岐阜、愛知を遊説し、菅義偉前首相が神奈川、遠藤利明選対委員長が三重の決起集会で檄(げき)を飛ばすなど、選挙本番並みの取り組みを強めています。

公明党の山口那津男代表は12日に神戸市で「日本の防衛力を強化しなければならぬ。切り札は日本と米国の同盟関係だ」として軍備強化を訴えました。山口氏は10日に神奈川県内で選挙区候補の応援を行い、「いま日本の周市の街頭演説で原爆投下に触れつつ『抑止力を持たないと

いけない。アレルギーはあるかも知れないが、タブーなき議論が必要だ』と述べ、米国との核共有の議論を推進する姿勢を鮮明にしました。

開発の拡充を主張しました。

した。

日本維新的幹部は全国巡回を行いました。茂木敏充幹事長が北

狙い、松井一郎代表を先頭に選挙対策を強めています。

吉村洋文副代表は11、12日、埼玉や東京などの首都圏を中心

に巡回で演説するなど、関東

進出に向けた動きを強化。11

日には、藤田文武幹事長が京

都と大阪で選挙区候補の応援

を行いました。

松井一郎代表は11日、横崎

市の街頭演説で原爆投下に触

れつつ『抑止力を持たないと

いけない。アレルギーはある

かも知れないが、タブーなき議論が必要だ』と述べ、米国

との核共有の議論を推進する